

[抗議声明]

山田知事の米軍レーダー基地建設受け入れ表明に抗議し撤回を求める

2013年9月19日 日本共産党京都府会議員団

本日開催された9月定例府議会本会議において、山田知事は、京丹後市経ヶ岬への米軍レーダー基地の建設について、「国に協力して行きたい」と表明した。日本共産党京都府会議員団は、米軍基地建設の受け入れ表明に断固抗議し、その撤回を強く求める。

知事は、「安心安全の確保について政府から責任を持つ旨の回答を得られ、京丹後市長が受け入れ表明を行った」ことを理由にしているが、丹後地域の住民をはじめ、府民は「説明を聞けば聞くほど米軍基地の危険性は明らかであり、到底納得できない」「京都に戦争準備の米軍基地はいらない」と2万6千筆の反対署名を集めるなど反対の声は大きく広がっており、こうした丹後の住民や府民の反対を無視した知事の表明は絶対に許されるものではない。

アメリカ本土防衛のための米軍レーダー基地を設置されれば、攻撃の標的になり、米軍人による犯罪や事件・事故が発生する危険も明らかであり、強力な電磁波の影響も含め、住民の安心安全を守る保障はどこにもないのである。

しかも、京丹後への米軍レーダー基地建設は、滋賀県饗庭野演習場のオスプレイを使った日米軍事演習とともに、在日米軍基地の拡大・強化そのものであり、安倍内閣がすすめる集団的自衛権行使と日米軍事同盟強化という戦争準備の重要な一翼を担うものである。従って、知事は、京丹後への米軍レーダー基地受け入れ表明を直ちに撤回すべきである。

日本共産党京都府会議員団は、知事の受け入れ表明に強く抗議するとともに、広範な府民のみなさんとともに、力をあわせて京丹後市経ヶ岬への米軍基地建設を許さないために全力を挙げることを表明する。

以上